

2 パラシュートボール

I 競技の特性

大きなパラシュート(直径3～5m)の縁を2チームに分かれて持ち、上下に動かしながら、パラシュート上のボールを相手チーム側から落とすというゲームである。

移動を全く必要とせず、健常者は椅子に座って参加することで、老若男女問わず参加できる。また、バタバタという音や、風を感じることも魅力的な要素の一つである。



II 施設・用具

1.施設

風の影響がない屋内が適切であるが、屋外でのゲームも可能である。

2.用具

(1)パラシュート1枚

(2)ボール(図1)

あまり重くないものがよい。大きさはドッジボールやソフトボール程度で、プレイヤーの実態に合わせ選ぶ。

(3)得点板



図1 ボール(大・小)

III 競技の方法

1.人数(チームの編成等)

2チームに分かれて対戦を行う。1チームの人数はパラシュートの大きさによるが、4～10人程度がよい。

2.競技の方法

(1)競技の進め方(図2)

パラシュートの直径に引かれたラインを挟んで各チーム全員がパラシュートを持つ。審判がボールを1つ投げ入れ、「レディ・ゴー」の審判の合図でゲームはスタートし、選手はパラシュートを上下に動かす。ボールがどちらかのサイドから落ちた場合にゲームは終了し、落とされたチームに得点が入る。

(2)得点(相手に与える得点)

以下のいずれの場合も1点加点される。

- ①ボールが自陣から出た場合。
- ②ボールを直接手で扱った場合。
- ③移動したり、あるいは立ってプレイした場合。

(3)勝敗の決定

競技は3ゲームマッチとし、2ゲーム先取した方が勝ち。1ゲームは時間制で5分とし、その中で多く点数を獲得した方が勝ちとなる。

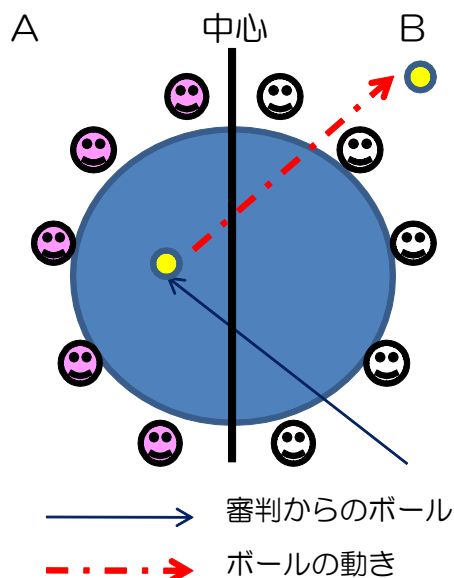


図2 ゲームの進め方